

# 平成29年度 生産管理システム・IoT導入助成金

島根県内ものづくり産業の生産性向上、新サービス・新製品の創出を図るため、生産管理システム導入並びに生産工程の最適化、新サービスや新製品の創出において、県内他の中小企業者のモデルとなるIoT等次世代技術を導入・実証する事業の取組みを支援します。

## 概要

目的	生産性向上	新商品 新サービス開発
助成金	生産管理システム導入型	IoT技術導入・実証型
事業対象	生産管理システム導入	IoT等を活用した生産性向上モデル※1,2 IoT等を活用した新商品新サービス開発モデル※3
対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・島根県内中小製造業（みなし大企業不可）</li> <li>・経営革新計画の承認（申請中も可）</li> <li>・5S・改善活動に取り組む企業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・島根県内中小製造業（みなし大企業可）</li> <li>・経営力向上計画の認定（申請中も可）</li> <li>・成果公開、視察対応が可能な企業</li> </ul>
助成率	1/3	1/2
助成額	上限：2,000千円	上限：5,000千円 下限：1,000千円
予算額	11,000千円程度	

※1～3：裏面に事例を掲載しております。

## 公募期間

**随時**

## 申請方法

所定の様式に記載のうえ、下記申請先までご提出ください。  
詳細は案内URL参照  
<http://www.joho-shimane.or.jp/purpose/improve/661>

## 採択の決定

審査委員会において、プレゼンテーションを行っていただきます。その後、審査委員会による審議を経て、申請事業の採否を決定いたします。  
※審査委員会の開催日時は、申請書類提出後別途ご案内いたします。

## 【申請先/お問合せ先】

(公財)しまね産業振興財団 経営支援課  
(担当:土井 安食)  
TEL:0852-60-5115 FAX:0852-60-5116  
E-mail:con@joho-shimane.or.jp

# IoT技術導入・実証型の事例

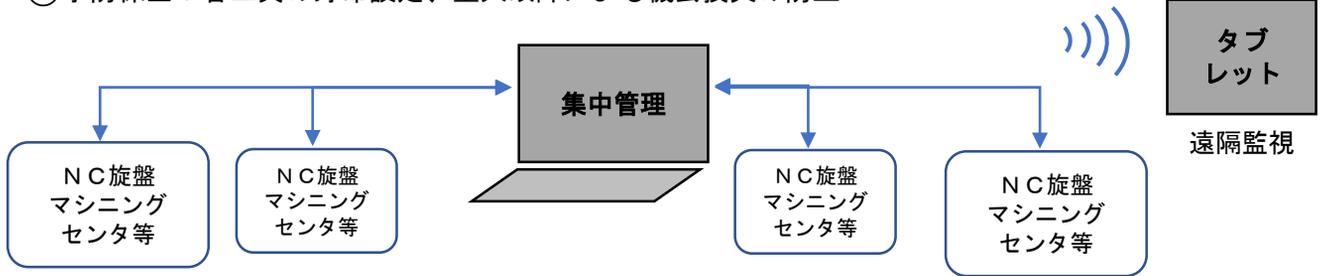
## 事例1 設備間連携による生産性向上(※1)

### 内容

工場内の複数の生産設備をネットワークにつなぎモニタ・タブレットにて稼働状況を把握、また種々のデータを収集する。(データ：稼働実績、生産量、加工時間、刃物の使用時間、モーター負荷・・・)

### メリット

- ①生産性向上：データに基づき材料供給や刃物交換を計画的に実施することで設備の停止時間を短縮。遠隔監視により1人当たりの生産設備の管理台数を最大化させる。
- ②予防保全：各工具の寿命設定、重大故障による機会損失の防止



## 事例2 加工データ取得による工程削減(※2)

### 内容

高精度な製品の製造には加工情報の収集・蓄積・活用が重要となる。例えば①樹脂の射出成型は樹脂が流れる速度、成形時にかかる圧力や温度、②プレス成型では成形時にかかる圧力によって製品の良し悪しが決まる。

そのワンショット毎の各データを収集し成形した時点で良品・不良品を判断することで検査工程を省くことができる。

### メリット

- ①生産性向上：良品・不良品を自動的に判断できることによって、検査工程のスピード向上に繋がる。
- ②予防保全：実績データのばらつきや上・下限値の設定により、品質や設備の異常の早期発見に繋がる。



## 事例3 新商品開発(※3)

さまざまな分野でこれまで勘や経験で行われていた作業方法、作業環境を各種センサーにてデータ収集・蓄積を行う。また、集めたデータを分析し、監視・保守・制御等へ活用することで、作業効率・生産性向上につながる製品開発(各種センサー・分析ツール等)を行うもの。

